

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No. 11 平成28年10月19日発行
発行責任者：高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



学びの秋、取り組み盛りだくさん

教育情勢を学ぶミニ学習会

道徳の「教科化」や学習指導要領改訂など、教育情勢は大きく変化していきます。こうした中、小さい場でもいいから学ぶことを大切にする取り組みとしてミニ学習会を始めました。

第1回 道徳の教科化」
10月1日開催

第1回の学習会は、宗谷教組本部で話題提供をして「道徳の『教科化』」について学び合いました。改訂された道徳の学習指導要領解説をもとに今後の道徳の姿について意見交換し合いました。「教科化に至った背景」や「評価が今後どうなるか」などについて活発に意見交換されていました。全教に付属する組織に



今回、分会直送でお届け

「民主教育研究所」という研究団体があります。今回の宗谷情報と同封で「どうなる!?『道徳』どうする!?!」というリーフレットを送付しています。道徳教育について考えるきっかけになるものです。各支部・分会でも読み合いなどの学び愛をしてみましょう。

次回は「教育課程づくり」

今回のミニ学習会は宗谷の教育運動のこれまでの財産に「教育課程づくり」があります。こうした運動の意義と、今後告示される「学習指導要領」がめざす姿について学びます。

まだまだ参加者募集中！ 合同教研

江別・札幌学院大にて

全道規模の学習交流集会として宗谷から毎年こぞって参加している「合同教研」。今年も多くの先生方が

参加してくださいませ。昨年の合同教研にオブザーバーとして参加した先生の中に、「いやあ、レポート

もっていきければよかった」と感想を残してくれた先生がいました。その先生は初めてレポートとして参加しています。こうした学びは深まっていくのだと思います。同封の「GoGo! GoKen」に詳しい内容を書いています。まだまだ、参加者受付中です。いっしょに教研に行きましょう！

宗谷からの参加 10月19日現在

- 【2. 外国語】司会1名、オブザーバー1名
- 【3. 社会科】レポート1本、オブザーバー1名
- 【4. 算数】オブザーバー1名
- 【5. 理科】レポート1本
- 【6. 美術】レポート1本、オブザーバー1名
- 【11. 保健体育】レポート1本、オブザーバー1名
- 【12. 総合生活】レポート1本、司会1名
- 【13. 教育課程】レポート1本
- 【14. 生活指導】レポート1本
- 【15. 教育条件】レポート1本、オブザーバー4名、司会1名
- 【16. 学校づくり】司会1名
- 【20. 障害児教育】オブザーバー2名
未定3名、合計26名

世代別懇談会

組合づくりを見つめる世代ごとの視点を大切に運動を創りたい——という宗谷教組本部の願いから、初めて実施します。1回目は40～50代のみなさんを対象に行きます。ここから生まれる取り組みや運動があるのではないかと考えています。

第1回
40～50代のみなさん
10月28日(金)
19:30～21:00
宗谷教育会館にて

教員採用試験学習会

教員採用試験の合格発表がありました。今年も「合格しました」「来年もがんばります」という報告を、寄せてくれた先生方が多くいました。来年の教員採用試験に向けては、一次試験対策はもちろん、「どんな先生になりたいか」ということを明確にしたワークショップも行いたいと考えています。

10月29日(土)
17:30～19:00
宗谷教育会館にて
参加費 組合員は無料。未組は1回1,000円

青年部学習会「センたま」

10月は「若者の集い」のため、お休みしました。11月は12日の開催です。テーマは「授業づくり」。どんな実践交流ができるか楽しみです。詳しくは同封の青年部ニュースで。

11月センたま
テーマは「授業づくり」
話題提供してくれる先生を打診、中学校の先生方が学べる場になるよう調整中。
11月12日(土)
14:30～16:30、
稚内北星学園大学にて

ほかにも、いろいろ

全教共済を広げる意義

共済は「仲間と助け合う仕組み」です。少しずつ共済に集う仲間が増えることで、つながり・助け合いの輪が、もっともっと豊かになります！

① 教職員の「生活を守る」運動

医療共済など、民間保険と比べて安い掛金で十分な保障を得られる仕組みがあります。教職員が自由に使えるお金・所得を増やし「生活を守る」運動です。

② 教職員の「身分を守る」運動

自動車での死亡事故の際に「被害者救済・加入者保護」を貴く全教自動車保険。また、教職員賠償責任共済、くらしの賠償責任共済は、教職員の身分を守る運動です。

③ 組合も、あなたの暮らしも豊かに！

教職員組合運動と、何より先生方の暮らしがほっこりすることをめざして、「総合共済」の加入をおすすめします。

月々600円の掛け金で、慶事給付・お見舞給付があるだけでなく、退職時には掛け金全額が戻ります。そして、組合の財政も豊かになります。

「うまい話すぎて、あやしいぞ」…ですって？ そんなことはありません。くわしくは、この宗谷情報を読むと、伝わるとおもいます。

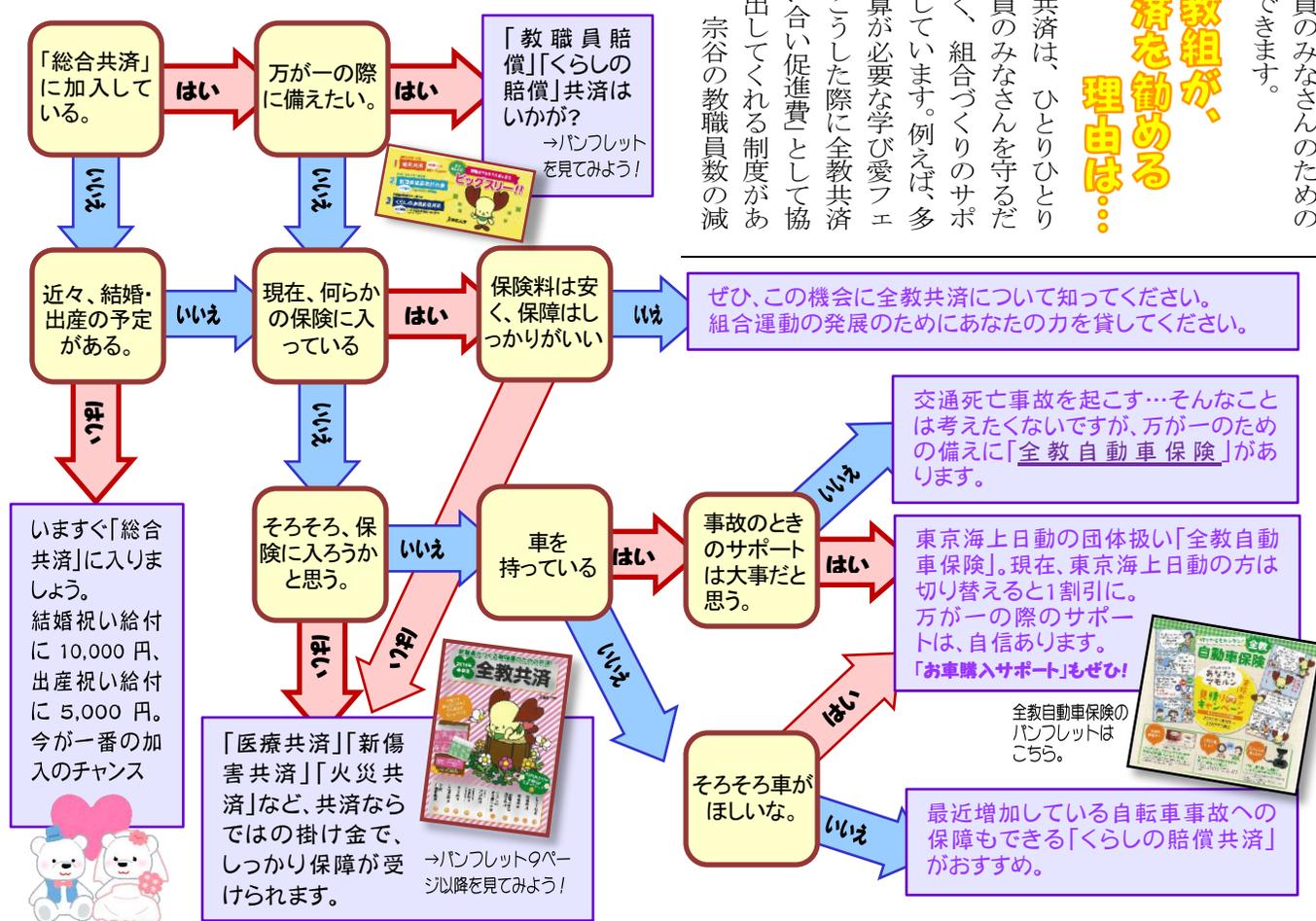
あなたを守り、組合運動をたくましくする 全教共済に入ろう！

保険と共済のちがいは？

世界で初めて共済がスタートしたのは、18世紀のイギリス。産業革命により使用者と労働者という格差が生まれ…。安い賃金で働く大工さんなんかが集う居酒屋さん。「あいつ、最近こないけど、どうした？」「ケガして休んでるって」「そりゃあいけねえ。みんなでお金を出し合って見舞いにいくべや」と助け合いが始まったといえます。これが共済制度です。全教共済は、困ったときやうれいときに、給付という形で助け合います。

「お金を出し合って、何かあったら支給される」という点では、保険も共済も同じように見えます。しかし、大きな違いは「利潤を求める必要があるかどうか」です。保険屋さんには、大企業が多くCMをやったり、たくさん社員の給料を払います。必然的に、儲けが必要です。一方、全教共済は儲ける必要がありません。運営は教職員組合が行い、CMしないかわりに、こうして組合のおたよりなどで組合員みなさんにクチコミでお知らせをしています。こうし

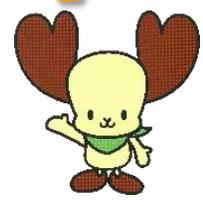
あなたに、おすすめの共済はこちら！



て組合員みなさんのための活動ができます。

宗谷教組が、共済を勧める理由は…

全教共済は、ひとりひとりの組合員みなさんを守るだけでなく、組合づくりのサポートもしています。例えば、多くの予算が必要な学び愛フェスタ。こうした際に全教共済が「集い合い促進費」として協賛金を出してくれる制度があります。宗谷の教職員数の減



少に伴って組合の予算が減少する中で、全教共済のこうした支援は組合運動を豊かにする大きな支えになっていきます。みなさんの方が一の時の

こと、そして組合づくりを豊かにする視点から、全教共済の加入を呼びかけます。

11月30日まで「秋募集」！同封の封筒で各種共済について確認し加入を検討してみませんか？



全教共済の加入を呼びかけています。学習会も開催させていただきました。こうして共済の枠組みを説明すればするほど、その良さや、共済にまつわるエピソードに出会ったりします。

【全教自動車保険加入者の声】

冬に、スリッパして車を路外に落として

しまいました。レッカーが来て車は無事に引き上げられ、「自分で走っていけそうだから、ディーラーまで行けるね」と。行きつけのディーラーまで自分で運転していくと、「自分で走って来てしまうと、保険特約のレンタカーは使えないんですよね」と言われ頭が真っ白に…。そこで、全教自動車保険代理店の「川上企画」に電話してみると、「確認します！」の声。しばらくすると電話がかかってきて、「先生、保険で大丈夫です」。親身に対応してもらえ

る全教自動車保険のありがたみを感じました。

共済や保険というのは、人と人との付き合いで加入していることが多かったりします。契約のひとつひとつにはそうした「つながり」があると云います。それを意識しつつ、今回の宗谷情報で触れた観点から全教共済の加入をお願いしています。いざというときの安心とほっこりがそこにあるからです。(naity)